

2011技術経営トップフォーラム

—— グローバル事業展開における技術戦略とその課題 ——

講演者



町田 尚氏
日本精工(株)
特別顧問



林 徹氏
(株)本田技術研究所
二輪 R&D センター
執行役員技術開発室長



川口 淳一郎氏
JAXA「はやぶさ」
プロジェクトマネジャー



榊原 清則氏
慶應義塾大学
教授



里村 博氏
キャノン(株)
総合 R&D 本部
副本部長



押澤 秀和氏
ポッシュ(株)
専務取締役



堤 和彦氏
三菱電機(株)
常務執行役
開発本部長



小笠原 敦氏
産業技術総合研究所
イノベーション推進室
総括主幹

実施要領

開催日時

2011年4月27日(水) 10:00~17:00

会場

KKRホテル東京「孔雀の間」(東京大手町)

対象

経営トップ、技術・研究開発・経営企画・事業部門の役員・本部長・部門長・部長、
研究所長、スタッフの方 等 (定員 100 名)

TiMJAPAN
Japan Research Center for
Technology and Innovation Management

技術経営研究センター
公益財団法人 日本生産性本部

グローバル事業展開における技術戦略とその課題

10年後、日本企業はグローバル市場で十分な競争力を維持出来ているでしょうか。欧米先進国の標準化戦略には巧みなものがあり、また、システム統合力に抜きんでた企業があります。一方、新興国企業においても技術力が確実に向上しています。グローバルに事業展開していく上で、有効な技術戦略は何か。成長市場で競争優位性を確保していく技術戦略課題は何かを検討いたします。

10:00
～10:15

ご挨拶

ご挨拶

技術経営研究センター 会長 (元・松下電器産業株式会社 副社長)
水野 博之 氏



10:15
～11:00

基調講演

先進技術の追求とグローバル展開における技術開発課題

日本精工株式会社 特別顧問 町田 尚 氏

グローバルな事業展開の中で、品質基準をどのように考え、価格対性能比を如何に高めるか、納品後の技術サービスのあり方、技術開発連携のあり方等、その国、地域の企業の要望に如何に答えていくかについてグローバルな開発拠点の展開を推進してきた町田氏に問題提起いただきます。



11:00
～12:00

講演

ホンダ二輪事業のグローバル展開と技術開発の考え方

株式会社本田技術研究所 二輪 R&D センター 執行役員 技術開発室長
林 徹 氏

世界の二輪車生産台数は約 5000 万台、その半数は中国で生産されています。その巨大市場でホンダブランドを如何に浸透、維持していくか。現地需要に合わせた低価格車を開発していくための施策はどのようなものか伺います。



対談

新興国、途上国における事業展開と技術戦略課題

新興国、途上国が主要なマーケットとなっている事業における現地企業との提携のあり方、品質管理のあり方、さらに現地企業において開発した製品の日本での展開について伺いし、これら市場での技術戦略課題を検討します。

◆対談：聞き手

慶應義塾大学 教授 技術経営研究センター 総括プログラムディレクター
榎原 清則 氏



12:00
～12:45

— 昼食休憩 —

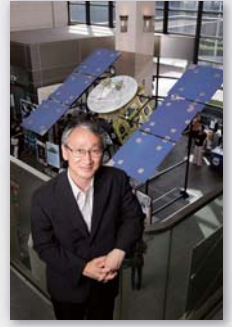
12:45
～13:30

特別記念
講演

小惑星探査機「はやぶさ」の成功要因と日本の技術力

小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクト・マネジャー
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 宇宙航空システム研究系 教授
川口 淳一郎 氏

小惑星探査機「はやぶさ」は無事、小惑星イトカワの微粒子と共に地球に帰還しました。様々なトラブルが発生し、奇跡と云われた今回の帰還は、オペレーションを含めた日本の技術の高さを世界に知らしめました。その成功要因を伺います。



13:30
～14:00

講演
兼パネリスト

先端技術開発と新興国需要向け 複写機・複合機ビジネスの考え方

キヤノン株式会社 総合R&D本部 副本部長 里村 博 氏

複写機・複合機では新興国を中心にサムスンが存在感を示し始めています。事務機器、カメラを主力事業とし高い利益率を誇るキヤノンの技術戦略を伺います。



14:00
～14:30

講演
兼パネリスト

ボッシュの先端技術開発力とそれを支える企業文化

ボッシュ株式会社 専務取締役 押澤 秀和 氏

ボッシュは国際的に高い技術力と信頼性が評価されています。低価格車向けに新しく開発したタタノの電子制御ユニットは他メーカーに展開されています。その技術開発力を可能にしている企業文化、研究開発マネジメントについて伺います。



14:30
～15:00

講演
兼パネリスト

先端技術開発力でグローバル市場のニーズに応える 技術戦略の考え方

三菱電機株式会社 常務執行役 開発担当 堤 和彦 氏

宇宙航空、防衛産業に強い技術基盤を持ち、情報通信、電子デバイス、家電等幅広い事業領域、製品分野でグローバル市場を開拓している同社の研究開発についてご紹介いただきます。



15:00
～15:15

— 休憩 —

15:15
～17:00

パネル討議

経済成長著しい新興国市場における技術経営課題は何か

◆モデレーター

独立行政法人産業技術総合研究所 イノベーション推進室 総括主幹
小笠原 敦 氏

新興国において競争力ある製品を提供していくための課題は何か。グローバルな経営資源の獲得と有効な活用、連携のための施策はどのような事が考えられるか。技術経営に関わる課題を検討いたします。



開催要領

日時	2011年4月27日(水) 10:00～17:00
会場	KKRホテル東京 11階 「孔雀の間」 東京都千代田区大手町1-4-1 電話:03-3287-2921 (代表)
参加対象	経営トップ、技術・研究開発・経営企画・事業部門の役員・本部長・部門長・部長、研究所長、スタッフの方 等(募集100名)
主催	公益財団法人日本生産性本部 技術経営研究センター

参加お申し込み要領

お申込み お申込みは、「申込用紙」に必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスいただくかコピーをご郵送ください(FAX:03-5221-8479)。
*(財)日本生産性本部ホームページより直接お申込みいただけます。
URL: <http://www.jpc-net.jp/academy/tim-japan/index.html>

お申込受付 参加申込書を受領次第、折り返し「参加証」と「請求書」をお送りいたします。
恐れ入りますが参加費は事前にお支払い願います。

参加費

会員等	参加費	* 二人名以降参加費
① 技術経営研究センター (TIM) 会員	27,000 円	17,000 円
② 生産性本部賛助会員	35,000 円	25,000 円
③ 一般 (上記①および②以外の方)	42,000 円	32,000 円

* 上記参加費は昼食代、お飲物代、資料代、消費税を含みます。

* 同一組織より2名以上でご参加の場合二人目以降お一人あたり10,000円減額となります。

* 技術経営研究センター (Technology and Innovation Management Center) 会員は、同センター主催研究会等にご参加いただいた方に会員登録のご案内を申し上げます。詳しくは下記事務局にお問い合わせください。

取消料 4月25日(月)以降のお取り消しの場合は、以下の取消料を申し受けます。
● 4月25日～4月26日のお取り消し: 参加費の30%
● 当日のお取り消し: 参加費の全額

お申し込み、お問い合わせ

公益財団法人 日本生産性本部 「技術経営トップフォーラム」事務局 (担当: 梅村・乾・柏木)

〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階
Tel:03-5221-8455 Fax:03-5221-8479
ホームページ: <http://www.jpc-net.jp/> e-mail: academy_info@jpc-net.jp

賛助会入会のお勧め

日本生産性本部の活動にご賛同・ご協賛いただく賛助会員制度がございます。本フォーラムをはじめ事業参加費の割引や各種ご案内などの特典もございますのでご入会をお勧めいたします。詳しい内容については、下記問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

< お問い合わせ先 >

組織広報センター
Tel 03-3409-1116